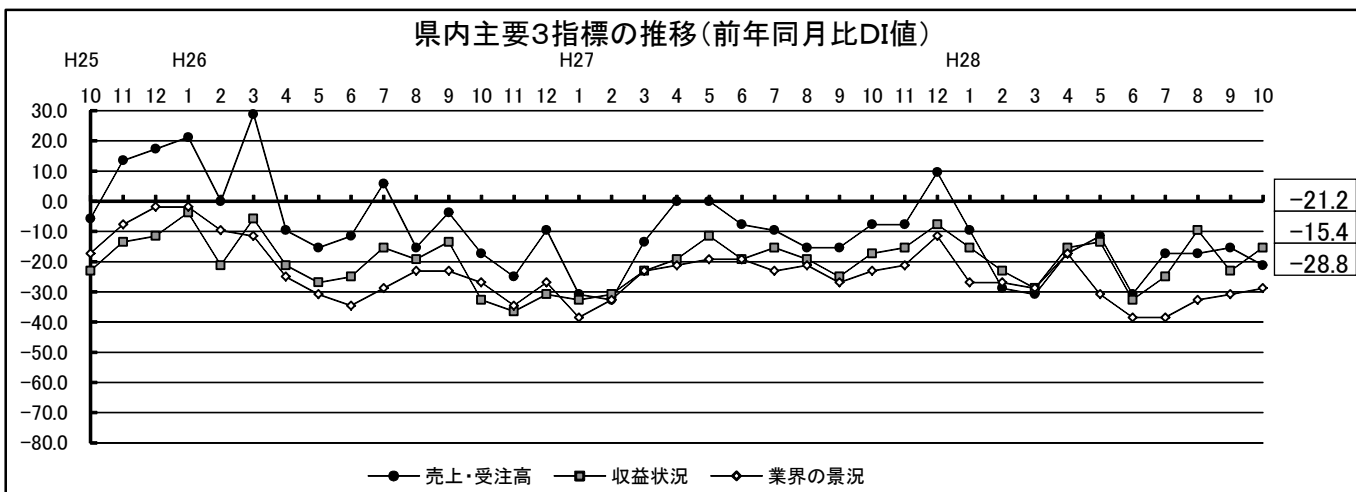


# 中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年10月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫数量」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」「業界の景況」が上昇し、「売上高」「資金繰り」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より5.8ポイント下降の-21.2ポイント、「収益状況」が7.7ポイント上昇の-15.4ポイント、「業界の景況」が2.0ポイント上昇の-28.8ポイントであった。
- 前月比で多くの指標の数値は横ばいもしくは回復傾向を示しているが、6月以降3カ月連続で上昇していた「売上高」が下落し、「資金繰り」も3カ月連続で下落した。業種別では、卸売業、小売業における景況感の悪化が著しい。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-21.2	-5.8	-24.1	+2.3
収益状況	-15.4	+7.7	-24.5	+2.5
業界の景況	-28.8	+2.0	-28.1	+1.8

## 売上・受注高

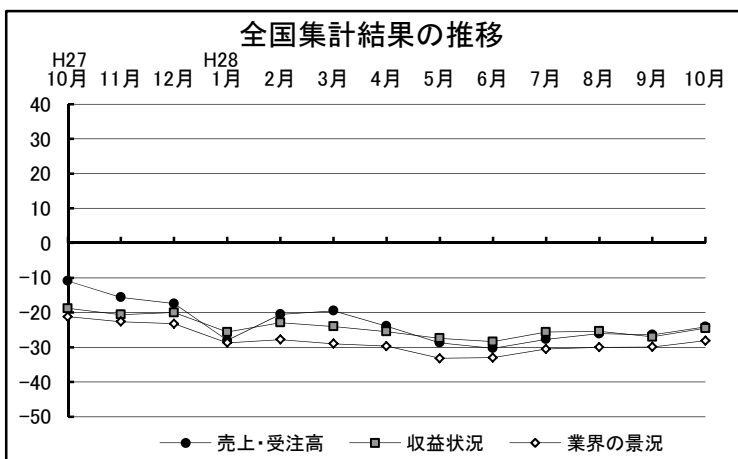
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より5.8ポイント下降の-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より2.3ポイント上昇の-24.1ポイントとなった。

## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.7ポイント下降の-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より2.5ポイント上昇の-24.5ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より2.0ポイント上昇の-28.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.8ポイント上昇の-28.1ポイントとなった。



## -概況-

10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫」「条件」「収益」「設備」「景況」の2指標が上昇し、「売上」「資金」が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より5.8ポイント下降の-21.2ポイント、「収益」が7.7ポイント上昇の-15.4ポイント、「業界の景況」が前月より2.0ポイント上昇の-28.8ポイントであった。多くの指標は前月から横ばいもしくは回復傾向を示しているが、6月以降3カ月連続で上昇していた「売上」が下落し、「資金」も3カ月連続で下落している。業種別に見ると、特に卸売業・小売業は厳しい事業経営を強いられている。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、5業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇した。「収益」は製造業で2業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で2業種が上昇した。「景況」は製造業で1業種が上昇し、非製造業で1業種が上昇、2業種が下降した。

天候不良などを原因とする需給ギャップの拡大により売上高・販売価格等は上昇したが、一方で景況や設備操業度、資金繰り等は依然として低迷しており、本格的な内需に結びついていないのが現状である。

燃料費の高騰や賃金改定に伴う人件費の上昇、円高による過当競争を受けて第一次・二次産業を中心に企業の生産能力が低下しつつあり、経済活動における供給力の減退が懸念される。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	×	△	△	△	△	△	△	△	×
木材・木製品	×	×	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	×	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
小売業	×	×	○	△	×	×	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	×
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転      △ 不変      × 減少・低下・悪化  
(DI値 +40ポイント以上)      (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	25.0	-50.0
木材・木製品	25.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0	25.0	-50.0
製造業	0.0	-24.0	-8.0	-8.0	-16.0	-8.0	-16.0	4.0	-28.0
卸売業	33.3	-33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0		33.3	-33.3
小売業	-71.4	-57.1	28.6	-14.3	-57.1	-42.9		-14.3	-71.4
サービス業	-50.0		16.7	-16.7	-50.0	16.7		-16.7	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-29.6	-50.0	11.1	-11.1	-29.6	-7.4		-3.7	-33.3
全体	-15.4	-31.4	1.9	-9.6	-23.1	-7.7	-16.0	0.0	-30.8

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
売上高	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-5.8
在庫数量	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	2.8
販売価格	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0
取引条件	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	7.7
収益状況	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	7.7
資金繰り	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9
設備操業度	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	8.0
雇用人員	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
業界の景況	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	2.0

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-25.0	0.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0
木材・木製品	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0
一般機器	-25.0	0.0	25.0	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	-24.0	0.0	0.0	8.0	-4.0	-8.0	8.0	-4.0	4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0		-33.3	-33.3
小売業	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0		14.3	0.0
サービス業	50.0		0.0	16.7	66.7	16.7		16.7	33.3
建設業	0.0		-20.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1	10.0	0.0	7.4	18.5	3.7		3.7	0.0
全体	-5.8	2.8	0.0	7.7	7.7	-1.9	8.0	0.0	2.0

## 特記事項

情報連絡員報告（平成28年10月分）

所属組合	特記事項
染色整理業	変化は見られない。
外衣・シャツ製造業	秋冬物と春夏物の切り替えのため、売上高が減少している。
一般製材業	9月にCADオペレーター1名退職のため、入力坪数が減少し、それに伴い加工坪数も減少した。今後人員の確保等、体制を整えカバーしていくこととなる。
木材・木製品製造業	売上は下がったが、物量の動きは良くなってきた。仕入れ価格も下がり、在庫も減ってきて、収益も改善されると思われる。しかし、冬になるにつれ動きが悪くなると予想されるので、今から冬に向けての対策を考えておきたい。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	上期は、用途によって微増した品目、昨年並みの品目、激減した品目があり、需要先による増減の差が大きかった。全体としては昨年並みで推移した。
砕石製造業	平成28年度上期(4月～9月)の出荷量は7,374,774トンであり、昨年同期比で1.4%減少しているが、路盤用については堅調である。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車部品関連…富士重工協力企業は相変わらず生産順調で、県南地区に来年度から新たな工場を新設稼働する動きがある。</li> <li>建設機械・大型設備機械関連…受注状況が厳しく、先が見えていない。</li> </ul> 雇用状況については、人手が不足しハローワーク等に募集をかけているが、苦戦している。
一般機械器具製造業	受注量には変化がないものの、賃金の改定があり、残業による賃金上昇と経常費の上昇（人件費、光熱水費、車両の燃料費）がある。緩やかではあるが、景況感に変化が現れていると思慮される。
一般機械器具製造業	本年10月は前年同月と比較すると、一部の企業の売上等収益の減少及び操業度の低下が見られ、前月と同様の動きとなった。今後の業界の景気状況の好転を期待する。
各種商品卸売業	9月決算企業の結果について。 <ul style="list-style-type: none"> <li>建設・建設関連資材卸売業者…増収・増益。課題として、全社的に高齢化が進んでおり、企業の将来を考えて若手人材の確保と育成に取り組む必要がある。</li> <li>溶接機器材料卸売業者…増収・減益。ものづくり補助金等を活用し、新たな活路を見出したい。</li> </ul> 新卒採用について、機械部品卸売業の会社では、念願であった来春新卒女子1名と、既卒ではあるが大卒後3年目の男子1名を確保することができた。ここ数年の就活生の特徴として、面接の段階で「結婚したら積極的に育児をとりたい」「社外活動のための時間をとることはできるか」といったことをハッキリと主張することがあげられる。従来はこうした主張は控えめであった。
食肉小売業	国産食肉全般の仕入れ価格は高いが、売れ行きが悪いために値上げが出来ていない状況。収益が幾分落ちている。
各種商品小売業	今月は週末にイベントが多く、人出があり街中の賑わいはあったが、購買への結びつきは今一つだった。街中の大型店も10月は苦戦だったようだ。

各種商品小売業	近隣の商業施設の閉鎖・撤退が決まって以来、お客様よりネガティブな言葉を投げかけられることがある。当施設に関してはそのようなことはないとの認識を売り場意識としてしっかりと共有し、前向きな姿勢で一丸となって営業していくことが必要である。11月は31周年誕生祭の企画もあり、積極的に発信していきたい。
花・植木小売業	この夏の天候不良、日照不足と長雨の影響、また産地についても高冷地から暖地への切り替え時期のため、入荷量が極端に減少し、婚礼や葬儀などの業務需要を中心とする商材が高値となった。また、月の後半には菊類を中心に驚くような高値となり仕入れに大変苦慮した。
自動車整備業	各組合員とも業績アップに苦しんでいる。そんな中でも業績を伸ばしている組合員もあり、営業力強化、アフターフォロー強化に努めているようだ。
ビルメンテナンス業	現在までのところほぼ前年並みの経営状況だが、10月の最低賃金引上げに伴うパート職員の時給改定により、収益性の低下を危惧している。
給食センター	平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。 食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	10月の業況は、宿ごとに見ると増減は半々、従って総体的には前年同様といったところだ。一方、昨年の紅葉はあまり良くなく、入込客数が若干減少気味だったので、今年の11月に期待したい。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは92%減、敷物用ラベルは94%減、壁装用ラベルは76%減であった。本年4～10月累計では、前年比カーテン用ラベル71%減、敷物用ラベル51%減、壁装用ラベル44%減であった。 ラベル支給（売上）金額前年同月比は82%減、累計57%減であった。 平成28年度は7カ月が経過したが、防災ラベル支給枚数の激減に伴って売り上げも激減している。
一般貨物自動車運送業	貨物運送受注量において各社間のばらつきが目立っている。燃料価格が上昇傾向を示す中、ドライバー不足も深刻であり、年末にかけての不安材料である。
貨物軽自動車運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年当月と比べて一般貨物の受注量は増大し、堅調に推移している。ただ、高齢化に伴う組合員の脱退・廃業等でドライバー不足が深刻化している！！</li> <li>・グループ会社である（株）全国赤帽を活用し、バックオフィス業務、システム関連業務でお客様のニーズに応えられるよう、組織改革委員会を発足させた。</li> </ul>
一般乗用旅客自動車運送業	夜間の利用者が減少して、非常に厳しい状況が続いている。
大谷石採石業	前年同月比較でほぼ同様のレベルで推移した。小さな物件での問い合わせが多少増えている。